

2017 日本の大学中国言語文化短期研修 感想

2/26～3/3 中国・南京農業大学にて

人間学群心理学類 森田美咲

今回の研修で初めて中国を訪れました。ステレオタイプを認知し修正すること。中国人・日本人共に研修中の交流を大切にすること。この二つが個人的な目標でした。

第二外国語はドイツ語だったため中国語を理解することは全くできず、現地で行われた中国語の授業はかなり大変でした。何を言っているか分からない状況が続きましたが、授業を重ねるうちに分かる単語も少しずつ増え、日常生活でもわずかながら聞き取ることができました。幼稚園や小学校の時に初めて習った英語も同じように初めは？マークばかりで、人はこうやって言語を身につけていくのだなと身をもって感じました。身の回りに飛び交っている言語を全く理解できない経験は日本ではできません。大変貴重な経験をさせていただきました。

朝食などを買うときも言葉を話せないため、指さしやうなずきで伝えるしかありませんでしたが、自分の言いたいことが伝わった時とても嬉しく、言葉がなくてもコミュニケーションをとる事ができるのだと実感しました。そして、ツールとしての英語の必要性を感じました。英語=グローバル化と考えがちですが、英語は双方の間にあるツールでしかなく、そのツールを使ってお互いを理解していくことが大切なのだと感じました。

韓国人の友達が居り、韓国には「ぎじずぜぞ」の発音がないためうまく発音できません。私はどうしてできないのかと不思議で仕方ありませんでしたが、中国へ行き「和」という発音ができなかったときやっとその友達のことを理解でき勉強になりました。

また、日本語専攻の学生の方と会話していてどうしても伝わらないとき感じたのは、「どうして分かってくれないのだろう」ではなく、「どうして理解できるように伝えられないのだろう」という気持ちでした。これは、私がチューターをしている女の子の英語を理解できなかった時に彼女が感じた気持ちと同じなのだろうと学ぶことができました。

研修中、素敵な出会いがありました。宮崎大学の聴講生として参加していた松本さん(呼称；まっちゃん)です。まっちゃんは定年退職後、宮崎大学で中国語の授業を受け、中国研修に参加したそうです。「一生勉強」という言葉をよく耳にしますが、いつまでも好奇心をもって自分のやりたい事をやっている姿は素敵だと思いましたし、とても尊敬しています。いつまでも謙虚に学ぶ姿勢を忘れずにいたいと感じました。

中国文化と日本文化はとても似ていると研修中思いました。切り絵や漆器、書道、人力車など日本の文化だと思っていたものが中国の文化にもあり、日本の文化とは？と自問しました。また、中国文化の講座で先生が「まあ、今、中国人もほとんどやらないんですけどね」とおっしゃった文化があり、それは日本も同じだな、発展すると共に残念ながら無くなっていくものもあるのだなと感じました。

日本にいても日本人であると特に意識はしませんが、海外に行くと自分が日本人である

ことを過度に意識し、日本のことを客観的に考えることができました。日本語専攻の学生さんと話していて、初めにアニメに興味をもち、それから日本語を学び始めたという人がほとんどでした。「何のアニメが好き?」「○○というアニメ、面白いよね」と言われましたが、私はアニメをほとんど見るのがなく会話をつなげることができませんでした。外国人の中には日本人=アニメ好きという一種の固定観念があるように感じました。世界で注目されている日本のアニメについて、もう少し興味をもって知ろうと思いました。

活動では色々な観光地へ行くことができ楽しかったです。日本にはない建築物がたくさんあり、中国の長い歴史を感じました。また、南京へ行ったので無理を言って南京大虐殺記念館に連れて行ってもらいました。センシティブな話題なので交流中なかなか触れられませんでしたでしたが、行ってみて感じることは多かったです。私は日本人なのでニュートラルな立場にはいませんが、中国側が何に基づき、どのように考え、認知し、世界に向かって発信しているのか。そのような相手の考え方を感ずることができ、記念館に行けて良かったです。

日本には上下関係を大切にし、敬語を用いる文化があり、それ故に目上の人に意見を伝えることを控える。そして、海外の人に日本人はシャイであるという固定観念が生まれる。では、どうして似ている文化を持つ中国人はシャイと言われないのか。この事を研修中考えていました。正直、私は中国人と聞くと、「シャイ」とかけ離れた「自己中心的、無神経」というイメージを持っていました。しかし、実際交流してみて、自分のステレオタイプに気づきました。空港で会ったときから、空港へ見送るまで、現地の方は本当に優しく、気配りができ、私のイメージとは違っていました。交流会で椅子取りゲームを行っても「どうぞ」と譲りあう場面があったり、前にでて発表するのを遠慮したり、日本でも見られる場面がたくさんありました。私が知っていた中国人は日本に観光に来ている中高年の方々。そのような一部の人の言動から中国人に対して悪いイメージを作り出しており、今回気づけて良かったです。

日本で流れる中国のニュースは悪い物ばかりで、ついつい中国に対してマイナスなイメージを描きがちです。また、中国でも情報統制が行われており、日本にマイナスな感情を持っている人もいます。今回、中国を知りたい日本人と日本を知りたい中国人の交流を通して、実際にお互いを知ろうとすることの大切さを感じました。流れてくるニュースの中国が中国のすべてではありません。中国には素敵な文化、長い歴史、優しい人々、おいしい料理...etc そして、日本人が大好きな人がたくさんいます。そのようなことを実際、自分で見て、聞いて、感ずることができ良かったです。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

(活動中の写真)



南京農業大学学生達と一緒に



閱江楼



北京烤鴨



瘦西湖



中国文化研修